

著作権保護コンテンツ

特集

# 新しいロングセラー

次代の  
子どもたちに  
受け継ぎたい



アンネの木

ながいながいよる

細しはし屋さん

せかいでいちばんつよい国 デビッドマッキー

だんろのまえで

長谷川義史

けんかのきせき

ハクチヨナ

北国からの動物記

なぜ戦争はよくないか

おにいおと

エルシー・ピドック、ゆめでなわとびをする

皇帝にもらった花のたね

おじいちゃん

だいたいなコート

おにいおと

ウエズレーの国

皇帝にもらった花のたね

もんちゃんのおしり

かにかがが...

かにかがが...

かにかがが...

かにかがが...

かにかがが...

だるまさん

くつした

ちいさなあなたへ

わにわにのおぼろ

まぼろし

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

おならうた

## 著作権保護コンテンツ

よく、いい絵本は20年たって本物といわれます。

確かに今、ロングセラーといわれている絵本は、発売から20年も30年も経てなお、版を重ね子どもたちに親しまれています。その中からは数々のミリオンセラーも誕生しています。それならばと、編集部では、創刊10周年特別企画として、2000年以降に発行された絵本の中から、長く読み継がれ、この先ロングセラーになっていくであろう絵本をみなさんのアンケートから探り、上位30冊をご紹介します。次代の子どもたちにとって第二の『いないいないばあ』や『ぐりとぐら』になる絵本にきっと出会えます。

撮影/澤田 和廣 (P4~5)

※ランキングは本誌読者、全国の児童書専門店、JRAC®(JPIC読書アドバイザークラブ)にアンケートを依頼し、絵本を一人3冊まで推薦(総数524票)いただき、集計したものです。

これまでどんな絵本が多く読まれてきたのでしょうか。すでにミリオンセラーになった絵本の中から、ベスト20を見てみましょう。(TOHAN『ミリオンぶっく 2011年度版』より)

1位	『いないいないばあ』(童心社 1967年)	469万部
2位	『ぐりとぐら』(福音館書店 1967年)	430万部
3位	『はらぺこあおむし』(偕成社 1976年)	323万部
4位	『てぶくろ』(福音館書店 1965年)	281万部
5位	『ぐりとぐらのおきゃくさま』(福音館書店 1967年)	254万部
6位	『おおきなかぶ』(福音館書店 1966年)	250万部
7位	『しろいうさぎとくろいうさぎ』(福音館書店 1965年)	240万部
8位	『三びきのやぎのがらがらどん』(福音館書店 1965年)	234万部
9位	『ねないこだれだ』(福音館書店 1969年)	230万部
10位	『ノンタンぶらんこのせて』(偕成社 1976年)	228万部
11位	『いないいないばああそび』(偕成社 1988年)	225万部
12位	『しろくまちゃんのほっとけーき』(こぐま社 1972年)	224万部
13位	『ウォーリーをさがせ!』(フレーベル館 1987年)	221万部
14位	『ノンタンおやすみなさい』(偕成社 1976年)	212万部
15位	『ノンタン!サンタクロースだよ』(偕成社 1978年)	209万部
16位	『ウォーリーのふしぎなたび』(フレーベル館 1989年)	205万部
17位	『はじめてのおつかい』(福音館書店 1977年)	202万部
18位	『ぐるんぱのようちえん』(福音館書店 1966年)	201万部
19位	『からすのパンやさん』(偕成社 1973年)	197万部
20位	『しょうぼうじどうしゃじぶた』(福音館書店 1966年)	196万部

このあとにも『うさこちゃん』のシリーズや『どろんこハリー』(ともに福音館書店)などがつづきますが、いずれも発売から20~40年たっている絵本ばかりです。

※当財団(JPIC)では読書を通して国民の生涯学習推進・読書活動の推進のために、1993年より「JPIC読書アドバイザー養成講座」を開設。読書や出版について体系的に学習する講座です。JPIC読書アドバイザークラブ(JRAC)とはこの講座の修了生の有志により自主活動しているクラブ。全国に約600名が在籍、地域のおはなし会などで活躍しています。



# 著作権保護コンテンツ

## 『ペッテルとロッタのクリスマス』

作・絵/エルサ・ベスコフ  
訳/ひしき あきらこ  
1,365円 (福音館書店)

もう表紙からベスコフの愛がたっぷり伝わってくる絵本です。ベスコフはいつも私たちに、子どもたちの愛し方を教えてくれます。ペッテルとロッタが冒険に出かけられるのも、おばさんたちの愛がたっぷり注がれているからなのよね。



こども富貴堂  
が選ぶ 贈る絵本

雪の日の  
クリスマス

贈る  
絵本  
Gift for you

定番  
クリスマス  
絵本



## 『さむがりやのサンタ』

作・絵/レイモンド・ブリッグス  
訳/すがはらひろくに 1,260円 (福音館書店)

愛すべきサンタおじさんが、どんな人でどんな暮らしをしているのか? 子どもたちもナットクの絵本です。そうそう、「うーさむ」いからこそあたたかいお部屋で飲む紅茶も、ビールも!おいしいのよね。



## 『カイサとおばあちゃん』

作/リンドグレン  
訳/石井 登志子  
1,890円 (岩波書店)

カイサのおばあちゃんはクリスマス市で棒あめを売っています。そのおばあちゃんが足を痛めてしまいました。今年のクリスマスはどうなるの? でも大丈夫。カイサの大活躍で2人にすてきなクリスマスがやってきます。よかった!!



## 『ロッタちゃんとクリスマスツリー』

作/リンドグレン  
絵/ヴィークランド  
訳/やまむろしずか  
1,680円 (偕成社)

ロッタは5歳。元気いっぱいの子。「あたい、なんだってできるのよ」というロッタが、パパの買い損ねたクリスマスツリーを手に入れてしまいます。小さなロッタが起こしたクリスマスのすてきな奇跡!

## 『おもいででのクリスマスツリー』

文/グロリア・ヒューストン  
絵/バーバラ・クーニー  
訳/よしだしんいち  
1,575円 (ほるぷ出版)

冬の朝、谷間に歌声を響かせながらママとルーシーはモミの木をとりに行きます。パパがまだ戦争から帰ってこないからです。モミ木のてっぺんには赤いリボンが。ルーシーとパパが春に結んだリボンでした。



## こども富貴堂

〒070-0037 北海道旭川市7条8丁目買物公園内  
TEL 0166-25-3169 / FAX 0166-25-3171  
年末年始休業  
<http://www.fukido.co.jp/kodomofukido.html>

今回の選書は  
こども富貴堂の  
福田洋子さん



12月になると、わが家では窓辺に小さなクリスマスツリーを飾ります。友人がプレゼントしてくれたツリーは南半球のオーストラリアの家庭で飾られているというツリーです。

モミの木のかわりに太い棒を幹に、横にわたした何本かの細い棒を枝に見立ててその枝々にクリスマスオーナメントを飾っていくのです。

サンタクロースの絵のついたボールや、色とりどりのパッチワークでつくったモミの木などを緑と赤の細いリボンで枝に結んでいきます。そして鈴のかわたしをしたユーカリの愛らしい実をいくつも。

野や山を純白に染めた雪景色に映えて、小さなクリスマスツリーは心の中にあたたかいぬくもりを灯してくれま

す。

今年のクリスマスほど、生きていることの厳かさや子どもたちへの大人としての責任を感じるクリスマスはありません。福島の、日本の、世界の子どもたちに平安なクリスマスが訪れますよう。

# 著作権保護コンテンツ



『クリスマスまであと九日  
セシのボサダの日』

作/エッツ&ラバスティダ  
訳/たなべ いすず  
1,470円(富山房)

不思議で楽しいメキシコのクリスマス。9日前は小さな子どもがお菓子やおもちゃをつめた壺を割って楽しむボサダの日。一生懸命選んだ星形の飾りをセシは割ってほしくない。でも割れた星の向こうの空に見たことのない大きな星が。



こどもの広場  
が選ぶ 贈る絵本  
一番うれしい  
プレゼント

『聖なる夜に』

作/ピーター・コリントン  
1,365円(BL出版)

雪の原におばあさんが倒れています。クリスマスイブ、大切なアコーディオンを売ったわずかなお金をひたたくりに奪われての帰り道です。力尽きた体の上に雪が降り積もります。けれど、奇跡のような出来事が起こります。



『サンタのなつやすみ』

作/レイモンド・ブリッグズ  
訳/さくま ゆみこ  
1,365円(あすなろ書房)

寒がりやのサンタさん、クリスマスまでは大忙し。だから、夏くらい自分に休暇をプレゼント。それを改造したキャンピングカーでフランス、スコットランド、ラスベガスへリゾートに。口は悪いけど、サンタって本当、いいヤツ!



『やまあらしぼうやのクリスマス』

文/ジョセフ・スレイト  
絵/フェリシア・ボンド  
訳/みやち としこ  
1,365円(グランまま社)

とげとげをからかわれて仲間はずれのやまあらしぼうや。クリスマスの劇に出たのに、与えられたのは掃除係、道具係。お母さんがいつも励ましてくれる「ぼうやはわたしのころのひかり」という言葉がぼうやを助けます。

『へいしのなみだ』

文/さとう ひでかず・しなこ  
絵/つかさ おさむ 1,470円(こぐま社)

クリスマス一番のプレゼントは何? かつて喉の渇きにふらふらになっていた兵士に小さな手から水を飲ませてくれた、不思議な子ども。命令によってその子の命を奪おうとしていた兵士の心に届けられた大きな贈り物とは。



こどもの広場  
〒750-0001 山口県下関市幸町7-13  
TEL & FAX 083-232-7956  
定休日 月曜日  
<http://www.kodomonohiroba.co.jp>



今回の選書は  
こどもの広場  
横山真佐子さん

プレゼントをもらうのは、いつだって、誰だってうれしいものです。でもね、本当にうれしいプレゼントってお金で買えないかもしれないと思うのです。「うれしい」という気持ちは目に見えるものではなくて、それを贈ってくれた人の深い心がわかったときにこそ、体じゅうを満たすのです。

余りに貧しくて、お金も食べ物も持たない老婆でもプレゼントはできます。お母さんの一言が子どもの強い自尊心を育てるプレゼントになることもあります。小さな子どものせつない願いが天空の星になって贈られることも、働きづめの自分に旅と休暇をプレゼントすることも、そして、私たちに命が与えられたことに気づくことも、みな大きな幸せな贈り物です。

幼いころ、若い母が小さな箱に端切れをバッチワークのように張って、その中に毛糸で編んだお人形を入れてプレゼントしてくれたことを思い出します。知られないようにこそこそ隠れるようにして作っていたうれしそうな様子も憶えています。記憶の中にある幸せな思い出が一番のプレゼントかもしれません。

## プログラム 未就学児

どこで／幼稚園・保育園・児童館  
所要時間／10～15分×2プログラム テーマ／なかよし、あったか！

**このプログラムのポイント**  
冬だからこそ、ほんわかとあたたかい気持ちが響きます。お友だちがいれば、寒いなんて忘れちゃいそう！

### プログラム A

晩秋のプログラム。「だんだん寒くなってきました。動物たちは何をしているのかな？」と、おはなしがスタート。

#### ①「もりのおふろ」

作／西村 敏雄 840円（福音館書店）

森の奥のお風呂屋にやってきた動物たちは、先客の背中をごしごし。洗いっこの輪はつながって、最後は一齐にどぼーん！

#### ②「やまのこもりうた」 「のはらうたⅠ」より

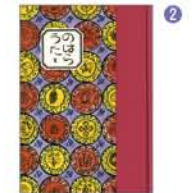
作／工藤 直子とのほらみんな 1,313円（童話屋）

「冬眠する動物たちは、今ごろあくびをしているかも。子グマの女の子がこんなことを書いているよ」と、前置き。

#### ③「ふゆじたくのおみせ」

作／ふくざわ ゆみこ 1,260円（福音館書店）

友だちがお互いを思いやるあたたかさ。ラストの初雪で、冬の訪れが楽しみになります。



### プログラム B

真冬向きプログラム。「寒いけれど、みんなはお友だちと楽しく遊んでる？ 今日はいろいろな友だちが出てくるよ」

#### ①「しんせつなともだち」

作／方 軼羣 訳／君島 久子  
画／村山 知義 840円（福音館書店）

寒い冬、友だちは食べるものがないのでは……。おすそ分けのかぶが動物たちの家々を巡ります。

#### ②「ふゆのようせい」 ジャック・フロスト

作／カズノ・コハラ 訳／石津 ちひろ  
1,470円（光村教育図書）

友だちが冬眠して寂しいコリン。そこに現れた冬の妖精。春の話はしない約束で、ふたりは楽しく遊びます。

#### ③「ふとんやまトンネル」

作／那須 正幹 絵／長野 ヒデ子  
1,365円（童心社）

ふとんに潜り込んで抜け出た先は、子どもたちのパラダイス！ おはなしを聞くうちに、頭のとっぺんから爪の先までボカカしてきそうです。



(古館 純子)

## プログラム 0・1・2歳

どこで／子育て支援センター 所要時間／30分  
テーマ／よい年をお迎えください

**このプログラムのポイント**  
寒い冬も親子で元気に楽しく過ごしましょう!! 新しい年もきっと笑顔いっぱいの素敵な年になりますね。

### ① パベットなどで始まりのごあいさつ

会のマスコットなどのパベットを使って、子どもたちとお話しましょう。

### ② 「3びきのちびねずみ」

作／ニコラ・スミイ 訳／末吉 暁子  
893円（あかね書房）

かわいいちびねずみが出てくる仕掛け絵本に、思わず子どもたちも前に出てきますよ。

### ③ 「ハンカチネズミさん」の紹介

『阿部直美のふれあい手あそび歌あそび101』より

著／阿部 直美 1,260円（世界文化社）

ハンカチネズミさんをつくって歌いながら遊びます。親子の数だけネズミを用意すると楽しいです。最後にネズミをハンカチに戻すとびっくり!!

### ④ 「てってのねずみ」

『あなたがたどこさ』より

絵／ましませつこ 1,260円（こぐま社）

歌はわらべ歌「てってのねずみ」にして、こちょこちょしても楽しいです。

### ⑤ 「キスの時間」

作／アントワヌ・ギロベ 訳／落合 恵子  
1,575円（クレヨンハウス）

いっぱい遊んだあとは、ママにキスのプレゼントをしてもらいましょう。やさしいキスにっこりします。

### ⑥ 紙芝居「がらがら ごろごろ」

脚本・絵／西村 敏雄 1,470円（童心社）

小さいうちは、まだ「うがい」がうまくできない子も。読んだあとに水を口に入れたら上を向いて「あ〜〜」と言ってごらん！と教えてみてくださいね。

### ⑦ 「つつんつつん・とんとんとん」

『あそび&ダンス&卒園のうた26 だんごむしたいそう』より

3,150円（学研教育出版）

おひざに座ったままでOK！ ポイントは「ね」のところで目を見ること、「だいじょうぶ」でぎゅってすること！

### ⑧ 「ねこのお医者さん」

増田裕子のミュージックパネル  
おたのしみセット

作／増田 裕子 3,000円（カエルちゃんオフィス）

楽しい歌と気合いが繰り返されるので、ママも一緒に声を出してもらいましょう。

### ⑨ パベットなどで握手でバイバイ

握手だけじゃなくて、ぎゅ！やチュ！もしてくれますよ。（井出 ひかる）



# 絵本作家さん こんにちは！

この人にあれもこれも



つかさ かさむ  
司修さん

## 創造から伝わる喜び

絵本作家のみならず、小説の執筆・装幀家としても多彩に活躍している司修さん。さまざまな作家と1000冊以上の本を手がけてきた舞台裏や制作への思いを伺いました。

撮影／石川 正勝 取材・文／菅原 千賀子



「まちゃんと」  
などでおなじみ!

僕は沈黙の中で  
自分のことを表現していた

みなさんは子どものころ、ろう石片手に道路に絵を描いて遊んだことがありますよね。絵とは、誰でも独学でできるもの。セザンヌやゴッホなどの著名な画家たちも独学でした。子どものときからやっていたことが、あることをきっかけに「描く」という表現を選ぶようになる。

僕がなぜ絵を描くようになったのか、という問いに答えるとすれば、「どうして自分が描いているのか、わからなかったから」でしょうか。

僕の故郷は群馬県の前橋です。9歳の夏に終戦を迎え、少年時代を過ごした故郷ですが、ほとんど帰ることはありませんでした。僕にとって、ここは必要ない場所だった。

かつて僕は誰とも話ができません、沈黙の中で絵だけを描いて暮らしていたことがあります。絵はおしゃべりです。描いた絵を説明することは、その絵のマイナスになる。だまっていたことで僕は表現していたんですね。

少年時代の思いや自分の明日を表現したい気持ちはたくさんあるけれど、いざ描こうとすると、せつないんです。さまざまな感情の中で創作を試みると、抽象的な絵になってしまふ。そのため、小説などの文章を書くことで表現していた部分があるわけです。

# 被災地に子どもの本ができること



東日本大震災、それに伴う東京電力福島第一原発事故に被災した子どもたちを本を通して支えようと活動している「子どもたちへ(あしたの本)プロジェクト」について、レポート第2弾です。

〈呼びかけ団体：社団法人 日本国際児童図書評議会 (JBBY)、社団法人 日本ペンクラブ (P.E.N.)、財団法人 日本出版クラブ (JPC)、財団法人 出版文化産業振興財団 (JPIC)〉

「この本 読んで!」編集人 なかいずみ きよし



左/建設中の仮設子ども図書館「にじのライブラリー」。下/この地を見守る御神木「800年杉」。



多くの方々のご支援で広がる子どもたちへ(あしたの本)プロジェクトご報告

まずは、5月より開催していた「絵本児童文学作家による直筆画・メッセージ展示会&オークション」のご報告とお礼です。

8月末までに被災3県を含め11会場で展示会を開催し、オークション入札は8月末に締め切りました。その結果は、落札総額1290万

円超という、主催者の期待を大きく上回るものとなりました。本オークションの主旨をご理解いただき、格別のご支援をいただきました皆さま、たいへんありがとうございます。改めて御礼申し上げます。

## 〈移動図書館車、各地へ〉

詳細は、60ページのレポートに譲りますが、移動図書館車が本格稼働しており、行く先々で子ども

たちから大歓迎を受けています。

10月22日からは、株式会社セブン&アイ・ホールディングスの協力を得て、宮城県の気仙沼市・南三陸町・石巻市のグループ4店舗を2週間間隔で定期巡回する活動もスタートしました。これにより、車載図書の貸し出しサービスもできるようになりますし、被災地の子どもたちと「また来るよ」「久しぶり」といったあいさつを交わせるようになりたいものです。



下/イトーヨーカドー石巻あけぼの店前のおはなし会。左/本を選ぶ親子でにぎわいます。ヨークベニマル大街道店前の駐輪場にて。



# 著作権保護コンテンツ

## 〈子ども図書館オープン！〉

さて、うれしい大ニュースです。三井物産株式会社のご支援で、岩手県陸前高田市に仮設子ども図書館「にじのライブラリー」を開設することができました。今この原稿を書いている時点(10月20日)では、まだ準備段階のため、楽しいオープンの様子(期待を込めてこう表現します)をお届けすることはできませんが、準備の様子を、少々。

建設地は、海岸を望む今泉天満宮の敷地の一部をお借りし、建物の目の前には御神木の「800年杉」が堂々とそびえます。この御神木は、大津波をかぶり枯れてしまうことが心配されました。しかし、関係者の真摯かつ適切な手当が功を奏し、根や枝先に新しい成長を見ることができるようになったとのこと。長くこの地を守ってきた御神木と、これからこの地域の復興を担う子どもたちが寄り添えるこの地に仮設木造図書館をオープンできることは、(あしたの本)プロジェクトにとって、本当に象徴的な取り組みになると思います。

建物本体は、三井物産の北海道の社有林より切り出した国産材でつくられており、部材も厚く、窓も二重。「仮設」とはいえ「ぼくの家より、ステキだなあ。」というのが筆者の実感です。書棚は子ども利用を意識して「高さ110cm」でそろえたため、内部は見通しが利き、たいへん居心地のいい空間となっています。ここに、(あしたの本)プロジェクト選書の1300冊超と、親御さんにも楽しんでいただけるよう数百冊程度の一般書が置かれる予定です。追加で蔵書の充実を図ります。

日常の子ども図書館活動に加え、ときどき、東京から作家や子どものかかわる方たちが伺いイベントやワークショップを開くなど、地域の読書施設として親しんでい



被災地へ向けて移動図書館車が巡回訪問。本を手にした子どもたちからは笑顔があふれます。

ただけるような運営をめざしています。

準備・運営は、地元の読書ボランティアの皆さんと(あしたの本)プロジェクト、(大震災)出版対策本部(日本書籍出版協会・日本雑誌協会・日本出版クラブ)と出版関係諸団体により設立)が主体的にあたり、陸前高田市と緊密な連携をとって進めていきます。

こうして、活動を見てくださいと、さまざまな立場の個人・企業・団体！行政にお世話になりながら前進できていることを改めて感謝する次第です。

子どもたちが本を抱えたときのあの笑顔を思いつつ、この活動を進めてまいりますので、今後とも、皆さまのご支援ご協力をお願いいたします。



### 募金窓口

三菱東京UFJ銀行 神楽坂支店  
(普通) 0059827  
口座名義:(あしたの本)プロジェクト



# 著作権保護コンテンツ

## 「ぼうし」

ネズミやさんでネズミ帽子を買ったら、おまけはしっぽでした。モグラやさんで買った帽子のおまけは、手袋。どのお店でも愉快なおまけがついてきました。おらかなナンセンスに笑いがこみあげ、ページをめくるのが楽しくなってきます。



絵・文/井上 洋介  
1,365円 (イースト・プレス)

## 「よるのえほん」

一番星に誰かが願いをかけるとき、夜はそれをそっと見守っています。あなたは夜にいろいろな顔があるのを知っていますか？ それぞれの場面で見せてくれる夜は、どれもすてきで不思議です。ベッドに飛び込んで眠りについたら、今夜はいい夢が見られそうです。



作/バーバラ&  
エド・エンバリー  
訳/木坂 涼  
1,260円 (あすなろ書房)

## 「くらべてごらん」

雨と鈴、橋と箸、凧と蛸。同じ言葉なのにこんなに違うんですね。「くらべてごらん」と呼びかけて、ページをめくるたびに目に飛び込んでくる絵に大爆笑です。小さなお子さんから大人まで楽しめて、日本語のおもしろさが再発見できます。



作・絵/ accototo  
ふくだ としお+  
あきこ  
1,260円  
(イースト・プレス)

## 「ごはんのとも」

日曜の朝、一番に起きたまーちゃんが炊き立てごはんをよそすと、冷蔵庫から「ごはんのとも」の声がします。たらこに漬物、納豆にふりかけ大集合！ところがその中に「ごはんのとも」のにせものも……。読んだあとは朝ごはんが楽しくなりますよ。



文/刈田 澄子  
絵/わたなべ あや  
1,365円 (アリス館)

## 「おうさまジャックとドラゴン」

王さまジャックとしょうぐんザック、そしてチュッパ王子は、力をあわせてお城をつくり、ドラゴンも怪物も退治し、ごちそうを並べて宴会です。ところが、巨人にザックもチュッパも連れていかれてしまいました。さて、残ったジャックにも忍び寄る影が……。



文/ピーター・ベントリー  
絵/ヘレン・オクセンバリー  
訳/灰島 かり  
1,365円 (岩崎書店)

## 「びんぼーん」

びんぼーんと鳴らすと「はーい」と返事がありました。誰が出てきたのでしょうか？ 木のびんぼーん、池のびんぼーんと、いろいろなびんぼーんがあります。最後はアジサイのびんぼーんです。でも、なかなか返事がありません。なぜでしょう？



作/山岡 ひかる  
1,050円 (アリス館)

ぜーんぶプレゼント  
もう読んだっ？  
新刊  
100!!

2011年6月〜8月に発売された新刊絵本の中から、読みかきせにもおすすめの100冊を選びました。プレゼントですてきな時間を過ごしてください。プレゼント応募はアンケート用紙、またはウェブから。

※出版社五十音順

👶 マークは乳幼児から、  
🎓 は中・高校生も楽しめる本です。

## 「くまのオットーとえほんのおうち」

クマのオットーのおうちは絵本の中。ある日絵本から抜け出し、思いきって外の世界へ飛び出しました。大きな家だと思ったら、そこは図書館でした。絵本の中から出てきた、たくさんの友だちと出会ったオットーが見つけた最高の幸せとは、いったい何でしょう。



作・絵/ケイティ・クレミンソン  
訳/横山 和江  
1,365円 (岩崎書店)

## 「ゆうれいなっとう」

だいくんが、スーパーで見つけた、ゆうれい納豆。「うらめしや〜」と、ねばりのきいたこわーい声。でも、おいしいゆうれい納豆！ほんものゆうれいの国で、ゆうれい納豆は大人気。うらめしや〜、うらめしや〜の大合唱です。



文/刈田 澄子  
絵/大島 妙子  
1,365円 (アリス館)

## 「北の馬と南の馬」

一年を通して温暖な宮崎県・都井岬で生まれ育つ南の馬、御崎馬。一方、青森県・尻屋崎の厳しい寒さの中で生まれ育つ北の馬、寒立馬。どちらも日本の在来馬を祖とし、天念記念物として保護されながら2000kmも離れた地でそれぞれの進化を遂げています。



写真・文/前川 貴行  
1,575円 (あかね書房)

# 著作権保護コンテンツ

## 今号の注目

### 「きみたちにおくるうた」

オバマ大統領が2人の娘に向けてつくった絵本です。社会に影響を与えた13人の人物を登場させながら、きみたちには未来を切り開く力があること、ひいてはアメリカの多様な子どもたちすべての中に、いえ世界中の子どもたちの中にもその力があることを伝えています。

#### 担当した編集者にお話を伺いました

この絵本づくりに取りかかり始めたころ、あの震災が起きました。被災した子どもたちのために、自分に何ができるのか。多くの人々と同様、私たちも悩み、オバマ大統領がお子さんの幸せを祈りつづったこの本を、被災地の子たちにも届けたいと考えようになったのです。思いを画家のロングさんにお伝えしたところ、すぐに素晴らしいメッセージを寄せてくださいました。そして訳者のさくまゆみさんには、バスを使って本を被災地へ運んでいただいたのです。(明石書店 赤瀬智彦さん)



文/バラク・オバマ  
絵/ローレン・ロング  
訳/さくま ゆみこ  
1,575円 (明石書店)



### 「なんとなく」

パン屋が、自転車をつくった。「なんで?」「なんとなく」。文豪の奥さんが、パチンコを打った。「なんで?」「なんとなく」。登場する人が思いもかけない行動をします。理屈なんてありません。いえ、あります。「なんで?」「なんとなく」です。



作/五味 太郎  
1,260円 (絵本館)

### 「ひみつの足あと」

水の底にある洞窟に住むという、美しい生き物シグアバは人間に見つかることを恐れていました。その姿は人間そっくりですが、足に特徴があり、それが人間から身を守ってくれていました。ところがある日、その存在を人間に知られそうになって……。



文/フリーア・アルバレス  
絵/ファビアン・ネグリン  
訳/神戸 万知  
1,575円 (岩波書店)

### 「ねずみのへやもありません」

クリストファーは、お母さんとネズミのスニーキーと一緒に、大きな家で暮らしています。フィズルトンさんや困っている街の人々を次から次へと家に誘うので、とうとう空き部屋はなくなってしまいました。いつも忙しいお母さんが、やっと気づいたことは?



文/カイル・ミュアーバーン  
絵/フレヤ・ブラックウッド  
訳/角田 光代  
1,470円 (岩崎書店)

### 「いろいろばあ」

赤・青・黄色の3色が絵の具の容器から顔を出しています。「いろいろ……ばあ!」とページを上をめくるとびっくり。楽しい絵が出てきます。また2色が混ざり合うと、あら不思議? 別の色に変身です。色の不思議と楽しさにびっくり、にっこりです。



作/新井 洋行  
800円 (えほんの杜)

### 「いとしのロベルタ」

姿を消したロベルタを捜す男のおはなしです。歌詞のように流れるセリフ、シュールな絵。そして、ついに捜しあてた、いとしのロベルタはいったい誰……? 意外性と、ノスタルジーを感じさせてくれます。



作/佐々木 マキ  
1,260円 (絵本館)

### 「とんぼ」

秋の日差しの中、花の下で死んだトンボを、アリが列をなして弔います。1匹のトンボの死が、小さな無数のアリたちの命につながっていきます。巡り巡って生かされている、命の営みを美しく描いた、韓国の詩の絵本です。



詩/チョン・ジョンチョル  
絵/イ・グワンイク  
訳/おおたけ きよみ  
1,365円 (岩崎書店)

### 「うみにいったライオン」

ぼくは、大好きなライオンを誘って海に行きました。ライオンに泳ぎ方を習おうとしますが、貝殻を拾ったり、砂遊びをするばかりで、なかなか泳ぎ方を教えてくれません。ふたりは泳ぐことができるのでしょうか……。



作/垂石 眞子  
1,260円 (偕成社)

### 「すいかのたび」

スイカが海を旅していました。ラッコが見つけて、枕にしてちょっとお昼寝、タコやアザラシは抱きついて、また行ってしまいました。ペンギンたちはどうしたでしょう? スイカは、ゆらゆらしているだけです。スイカの旅は続きます。



作/高島 純  
1,260円 (絵本館)

### 「カンガルーには、なぜふくろがあるのか」

タイトルのおはなしのほか、「虹色の大ヘビが大地をつくったはなし」や「カエルは、なぜぐわぐわとなくだけか」など、10話が収められています。オーストラリアの先住民アボリジナルに古くから伝わり、語り継がれてきた物語が絵本になりました。



再話/ジェームズ・ヴァンス・マーシャル  
絵/フランシス・ファイアブレイス  
訳/百々 佑利子  
1,890円 (岩波書店)